

## 予告 2 部分抜粋

私だったら就職と共に起業もします。

就職が決まった段階ですぐに税務所に行って開業届を出します。

たったこれだけのことでハードル高く感じますか？

簡単でしょ？

売上げなんてなくても良いのです。

簡単でしょ？

利益がなくて赤字でも良いのです。

簡単でしょ？

それだけで家賃が安くなったり、旅行が実質タダになったり、色々な事が変わってきます。

謎ですか？

開業届を出して、ほんの僅かでも売上げを立ててしまえば良いのです。

その代わり、確定申告をしなければなりません。

売上げが少なくても赤字でも良いのです。

「確定申告」・・・ハードル高いですか？

今や簡単なソフトがゴロゴロあります。

なので心配は要りません。

話を整理します。

もし就職する場合は給与所得者になるわけですが、事業所得者にも同時になった方が良いですってこと。

事業所得者になることで、確定申告という面倒な事をしなければなりません、そのメリットは大きいのです。

売上げが微小で赤字になっても良いのです。

それだけでも年間にすると数十万～（人によっては数百万以上）のお金を自由に使えるようになります。

不正な会計などではありません。

きちんと認められた方法です。

### 予告 3 部分抜粋

例を出しますね。

（実話です。本当の話なのです）

週末には必ずどこかのカフェ巡りをしている A さん。

美味しいと思った料理は自分でも再現してみたりするそうです。

綺麗なランチプレートは必ず写真を撮っています。

最近は美味しいコーヒーの点て方に興味津々。

実は某大手機械メーカーにお勤めの女性。

お勤めなので、本業では源泉徴収されており、しっかり納税していますね。

この方の場合、そのままのスタイルで開業しても大丈夫。

繁盛カフェコンサルタントとして開業しちゃえば良いです。

毎回出向くときの交通費

カフェでの飲食費

イベント参加費

自分が借りているアパートも半分事業用にして地代家賃

電話やインターネットの代金も通信費

その他色々なものが経費になります。

開業届けを出さない場合は、カフェを訪れて飲食したものは全て自分のお小遣いからの出費。

その出費は何も産みませんからただの浪費なのかも知れません。

ところが、開業届けをだしてしまえばそれらが経費となります。

開業届けを出して確定申告することで、今まで支払っていたものが経費化できる訳です。

色々なカフェを巡るのはリサーチ代です。

時に遠出をして泊まりがけの旅行になっても旅費交通費。

家賃、水道光熱費、通信費、文具などの雑費、本を買えば新聞図書費・・・

その代わりに、ブログや SNS などにカフェの概要や自分が食べたものなどを UP します。

アレ??? こんな事なら誰もがやってませんか？

そしてそういった投稿に一文追加。

「繁盛カフェの秘密をお伝えします」とコンタクト先を書いておけば OK。

日頃やっている事にほんの一言増やすだけで事業性を帯びます。

実際にコンタクトが来るかどうかは別です。

赤字でも良いのです。

確定申告すると、今まで源泉で引かれていたものから少し還付を受けられます。

ただ単に徴収されていたお金。

何もしなければ戻って来ることもないでしょう。

ちょっと発想を変えて手続きだけすると戻ってきます。

こういう仕組みは万人ともに受けられる制度です。

別に変な事をしている訳ではありません。

私は給与所得者こそ起業すべきだと思います。

更には、既に個人で開業されている方は法人を持つべきだと思っています。

個人の場合と法人の場合はできる範囲と寿命が違います。

法人って永遠の人格なんです（潰さない限りは）

法人格を持っていると相続もやりやすい。

要は考え方や着目点なのです。

誰もが簡単な手続きでお金が余る仕組みが作れる訳ですから、やった方が良いと思います。

個人起業であれ法人格を持った起業であれ、自由になるためのパスポートみたいなものです。

しかも大企業が絶対やらないようなニッチ過ぎるような事で起業するなら、確実にニッチ需要に沿った事ができます。

お勤め先の給与を上回る売り上げを上げて行くのはそう難しくはありません。

売り上げが上がっても利益を出すか出さないかもコントロール可能です。

（この辺りが分かり難いかな？）

利益として計上するかどうかもある程度コントロールできるのです。

既にお勤めの方はよく考えて。

学生から社会人になる方もよく考えて。

まだ勉強中の小中高生は、今こういう制度を学んで将来に備えましょう。